

食用きのこ



タマゴタケ

夏から秋、シイ、コナラ、ミズナラ、ブナなどの広葉樹や針葉樹の樹下に発生する。



特徴

- 傘：径5～15cm、表面は美しい赤色～橙赤色で、周辺には放射状の溝線がある。
- ひだ：黄色で柄に離生、やや密。
- 柄：表面は黄色～橙黄色。上方に橙黄色のつばがあり、根元に白色で大型の袋状のつぼがある。

毒きのこ



ベニテングタケ

夏から秋、シラカバなどの広葉樹や針葉樹林に発生する。古くから知られている毒きのこであり、消化器と神経系に症状がでる。

特徴

- 傘：径10～20cm、幼菌は球形、のち丸山形から扁平に開き、表面は真紅色～橙黄色で、白いかさぶた状のいぼがある。
- ひだ：白色で柄に離生、密。
- 柄：白色で上部に膜質のつばがあり、根元は球根状にふくらみ、つぼのなごりが環状に残る。